

第四章 地方の発展と豊かな日本

こうした大都市化に伴う問題の解決を図るためには、政治の仕組みとして「分権（decentralization）」を進めることは必要です。しかし、もっと必要なのは、「分散（deconcentration）」を進めて行くことだ、と私は考えています。そして「分散」は、今後の日本の発展の仕方と大きく関連していると思います。

では、「分散」を進めるとどういふ良いことがあるのでしょうか。「分散」と生活の豊かさはどのように関連してくるのでしょうか。

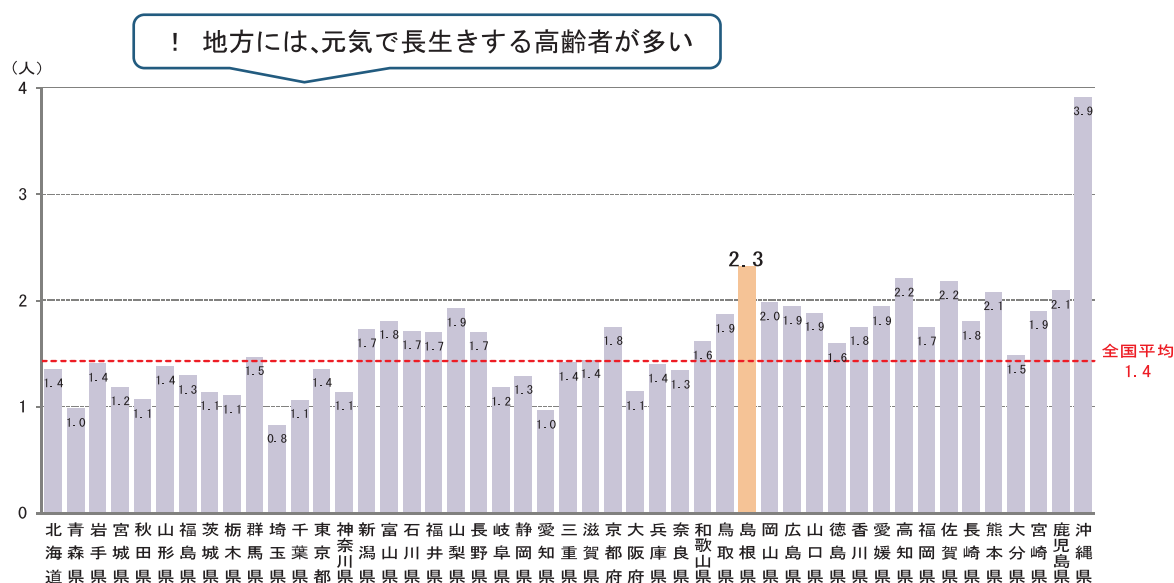
島根県は全国平均に対して、通勤時間が短く、住居が広く、自然が豊かです。また、島根県の高齢者には元気な方が多いのです。

県内各地を訪ねてみると、80歳を超えた方が元気に田畑に出て、農作業に従事しておられる姿をよく見ます。100歳以上の元気な人も多くおられます。

元気な高齢者が多いと、老人医療費は少なくて済みます。

高齢者（65歳以上）千人当りの100歳以上高齢者

図表24



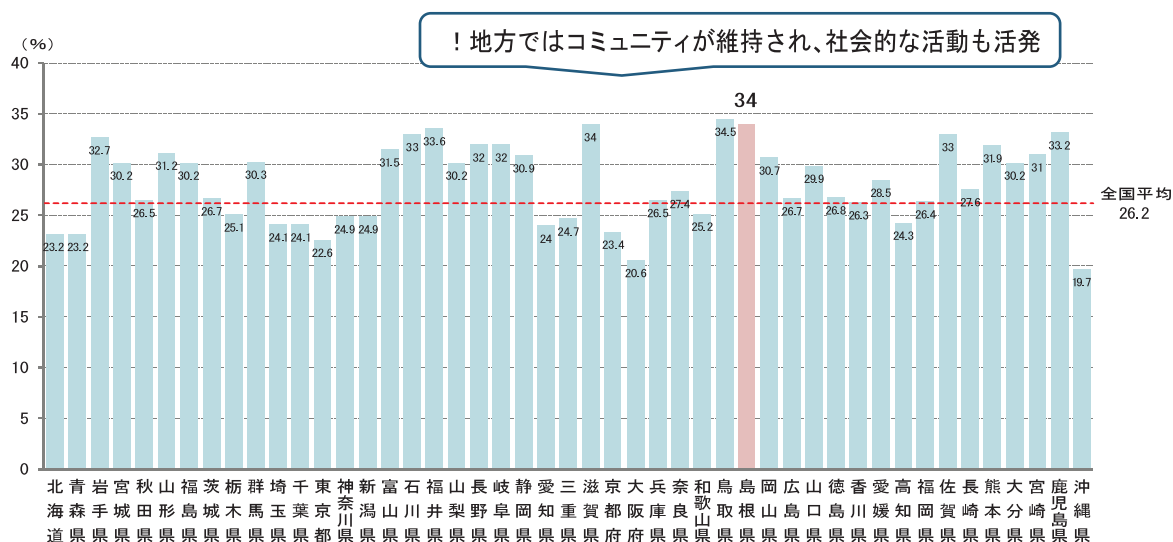
資料：人口は、「平成20年10月1日現在人口推計（総務省統計局）」。百歳以上高齢者数は、9月15日時点における年齢を基礎として計算。

さらに、ボランティア参加者が多く、島根県は鳥取県に次いで全国2位です。犯罪発生率は低く、犯罪検挙率も高い方です。温かな人間関係や地域社会が残っていることも影響しているのでしょう。

地方の豊かな地域社会と、人は密集しているがそれぞれが孤立した大都市の生活との際だった対比は、私が島根で強く感ずるところです。こうしたものが失われた大都市では、温かい社会を再構築することは至難の業でしょう。

ボランティア行動者率

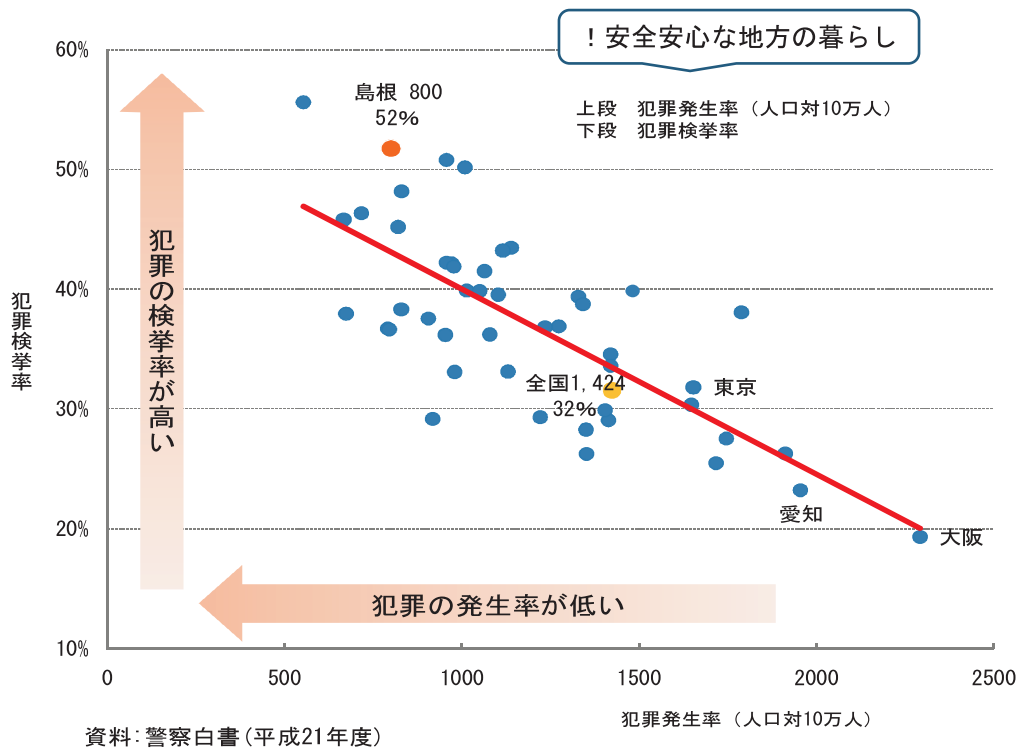
図表26



資料：平成18年社会生活基本調査（総務省）

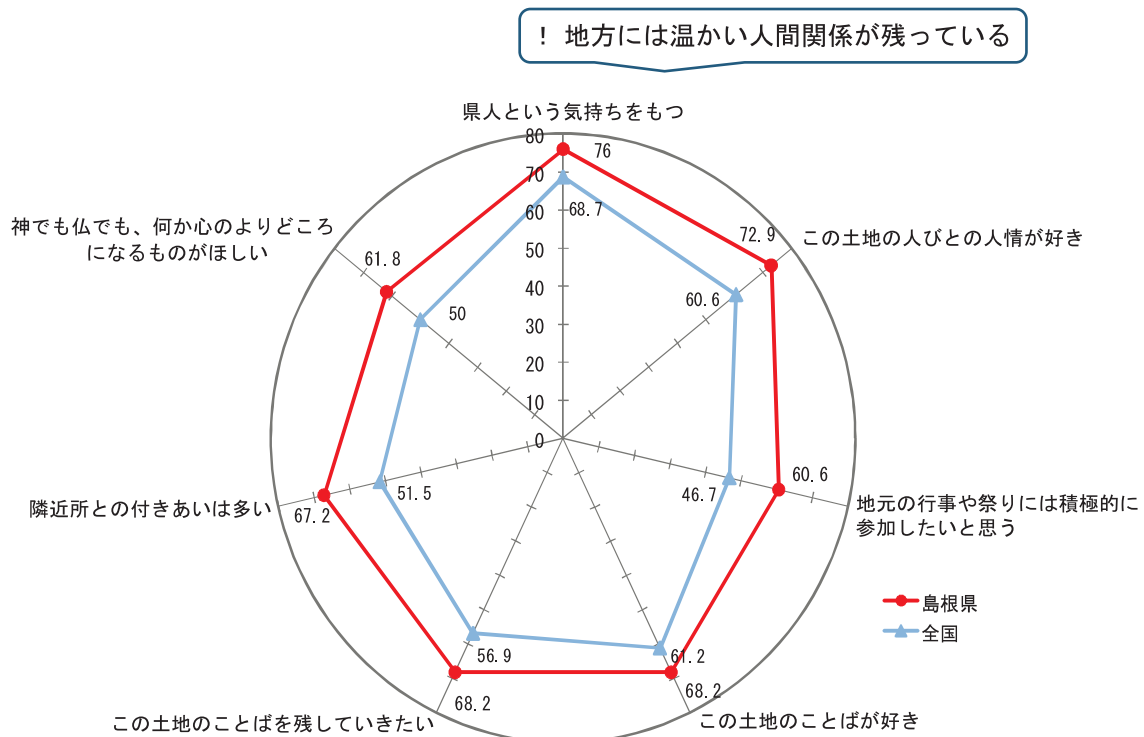
犯罪発生率と犯罪検挙率

図表27



島根県民気質の特性

図表28



日本全体は成熟した時代に入りましたが、欧米に追いつこうとするプロセスの中で、人口を一部の地域に集中させ、大都市を生みだしました。しかし、これからは大都市以外の地方に人口を分散させることが真に豊かな日本を築くのに必要な時代になっているのです。

地方でもいろいろな仕事が出来て、分散が可能な時代になっています。地方の発展を阻害していた交通や情報の格差が小さくなっています。地方を整備すれば、大都市でなくても、地方でもいろいろなビジネスができるのです。インターネットの出現がこの動きを加速しています。

さらに、みんなが同じような価値観をもち、画一化された行動をするのではなく、いろいろなユニークな考え方をし、自由な発想ができるような環境を作り、いろいろ問題に配慮していくことで、人間らしい豊かな生活が可能になります。

人々は豊かな自然や伝統文化の中でゆったりした生活をすることによって、クリエイティブな仕事ができるのです。きれいな水と田園で人々の求める豊かな食物が生産されるのです。

「第三章へ」

「おわりにへ」